

WAKUYA杯開催時の感染防止策について

涌谷FCでは、大会開催に際し、感染防止に向けて宮城県サッカー協会のガイドラインをもとに、大会に適應するように作成したものです。コロナ前とは状況が違うということをご理解いただき、熟読の上、実行してください。選手、指導者、家族の皆様のご協力をお願いいたします。

【事前の対応】

大会事務局、参加チームは、「感染対策責任者」を設置し、事前、当日、事後において、連携をとって感染防止策をコントロールする。

(1) 参加者に対して

「感染対策責任者」は、参加する選手、チームスタッフ、審判員、家族の皆様に以下の項目を事前に伝達すること。

①以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。

- 体調が優れない（例：発熱、咳、咽喉痛等の症状）。
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。

②参加者全員がマスクを着用する。

③参加者全員の「参加者リスト」を作成するなどチームで把握する。

(2) 競技会場における感染防止対策

①アルコール消毒液を設置する。

②各チームの控える場所（テントなどを設置する場合）の間隔を5m以上空ける。

③事前通達

周知を徹底する。

- ・体調の悪い方は来場を控える。
- ・来場する際はマスクを着用する。
- ・大声での声援や大旗を使っての応援は行わない。
- ・観戦は決められた場所のみとする。
- ・飲食はチーム控え場所内とする。（選手の飲水は別とする）

④当日対応

- ・喫煙所は設けない。
- ・事前通達の留意事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。
改善されない場合は退場してもらう措置も講じる。
- ・ゴミは原則持ち帰りとし、帰る際は必ずチーム内で清掃すること。

(3) 伝達事項

以下の感染防止対策に関する項目を伝えること。

- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

(4) 事後対応

- ・感染者が発生した場合に備え、各チームは大会当日の来場参加者リストを最低2週間保存すること。
- ・関係者に感染者が発生した場合は、即座に各チームの感染対策責任者に報告する。
- ・保健所や関係機関、連絡等については、各チームの感染対策責任者が行うものとする。

③保健所や関係機関、連絡等については、各チームの感染対策責任者が行うものとする。